

第2回 緑のまちづくりワークショップ 開催結果

日 時：平成22年8月21日（土）13：00～16：00

場 所：仙台市野草園 野草館

参加者：市民25名、コーディネーター（宮城大学：古川隆氏）

第2回 緑のまちづくりワークショップ結果概要

1.オリエンテーション

- ・はじめに、コーディネーターから前回のおさらいとワークショップの主旨や進め方、注意事項等の説明がありました。
- ・次に、前回設定したテーマに関する仙台市および他都市の取組み、緑に関する意識調査結果概要について、仙台市から説明を行いました。



仙台市や他都市の取組などの説明

2.各テーマの目標と取組みについて意見交換

- ・各テーマに関して、メンバーが事前に集めた情報・資料等を紹介し合い、共有するところからスタートしました。
- ・前回出された意見を確認しながら、あらためて各テーマの目標や取組みなどについて意見交換し、模造紙に整理しました。
- ・各グループのリーダーにより、本日の意見交換した結果について、発表が行われました。



Aグループの意見交換の様子

A:「生物多様性の保全」グループの主な意見

- ・「オオタカやカッコウ、トンボなど鳥や虫たちが生息・生育できる環境へと復元したい」などの意見が出されました。
- ・取組みに関する意見として、「ビオトープのネットワークづくり」、「みどりを分断させない」、「市民・子ども（学校）・企業の活動の仕組みづくり」などの意見が出されました。



Bグループの意見交換の様子

B:「公園魅力アップ」グループの主な意見

- ・生活に身近な小公園の魅力は「子供や高齢者が集まる公園」、総合的な市民公園の魅力は「緑を実感でき、1日居られる公園」、また、公園に性格や特徴をもたせる「テーマ型公園」が必要といった意見が出されました。
- ・住民参加のかたちとして、「市民が手をかけられる公園へ」、「専門家と一緒に活動していく(素人だけでなく)」などの意見が出されました。



Cグループの意見交換の様子

C:「街のみどり充実」グループの主な意見

- ・「身近に触られるみどりが少ないことから、目線で感じられるみどり（緑視率）を豊かにしていく」などの意見が出されました。
- ・これからのみどりの維持管理として、「市民向けの維持管理マニュアルづくり」や「落ち葉を堆肥化するコーナーの設置」などの意見が出されました。
- ・また、教育として、「学校を拠点に、みどりについて知る機会をつくる」などの意見が出されました。



Dグループの意見交換の様子

D:「みどりの拠点づくり」グループの主な意見

- ・みどりの拠点は、「ボリュームがあり核となる」、「シンボル性を有し、仙台を代表する」もので、仙台の拠点としては「コンパクトな市街地」、「青葉山～太白山」といった意見が出されました。
- ・拠点づくりとして、「仙台の文化をみせられる特徴的な拠点づくり」、「外国人に見せられる拠点づくり」、「徒歩で楽しめる拠点づくり」などの意見が出されました。
- ・また、継続した市民参加の場づくり、実現可能なロードマップづくりが必要といった意見が出されました。



各グループのリーダーによる発表